

## 令和4年度横浜市民意識調査 結果速報

横浜市では、市民の皆様の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、生活意識や生活構造を明らかにし、市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和47年度から毎年、市民意識調査を実施しています。

今年度の調査について、単純集計の結果がまとまりましたので、速報としてお知らせします。また、単純集計データをオープンデータとして公開します。詳しくは次のURLをご参照ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/shiminisiki/ishiki2022.html>

今後、年齢別や地域別等の集計・分析を行い、令和5年3月頃に報告書の公表を予定しています。

### 調査結果のポイント

1	市政への満足度と要望	満足度が最も高いのは、15年連続で「バス・地下鉄などの便」 要望は、12年連続で「地震や台風などの災害対策」が1位
2	横浜市を住まいとして選んだ理由	「通勤・通学に便利だから」が <b>42.6%</b> で最多 次いで「親や子、親族、友人などがいるから」が <b>27.3%</b>
3	隣近所とのつき合い方	「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」と感じている人が <b>77.7%</b>
4	生活満足度	今の生活に『満足』している割合は <b>7割半ば</b> 「住まい」、「家族との関係」に『満足』している割合は <b>8割を超える</b>
5	心配ごとや困っていること	「自分の病気や健康、老後のこと」が <b>54.2%</b> で、過去最多に
6	新型コロナウイルス感染症の影響	「友人・知人と過ごす時間」、「外出する機会」が「減った」と回答した人が <b>6割半ば</b> で、昨年度と比べ減少
7	自由に過ごせる時間	自由に過ごせる時間がある人は、 「十分にある」、「多少はある」を合わせて <b>8割</b>
8	今後の横浜のまち	どのようなまちになるとよいと思うかについて最も優先したいことは、 「医療体制が充実している」が <b>49.4%</b> で最も多い

### 調査の概要

対象地域	横浜市全域
対象者・抽出人数	市内に居住する18歳以上の方 5,000人（外国人含む）
対象者の抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送し、郵送回答又はインターネット回答により回収
調査時期	令和4年5月25日～6月16日
回収標本数	2,572票（回収率51.4%）

お問合せ先

政策局政策課データ活用推進等担当課長 小柳 八之 Tel 045-671-4087